

JSAFワンデザインクラス（ODC）計測委員会業務処理要領

平成18年12月1日

一部改定 平成21年 4月1日

I. ODC 計測委員会メンバーの構成

1. 国内において活発に活動し競技艇数も比較的多いクラス協会等の計測委員長（チーフメジャー）もしくは委員長に準ずる者で、当該クラス協会等の推薦者。
2. 全日本学生ヨット連盟、全国高等学校体育連盟ヨット専門部等階層別団体からの推薦者で、当該団体の計測委員長もしくは委員長に準ずる者。
3. 47都道府県連のブロック分けである各水域からの推薦者で、当該水域の計測責任者もしくは準ずる者。
4. 国民体育大会を開催する都道府県（次回、次々回等）の国体計測責任者。
5. ODC 計測委員長の推薦者。
人数は若干名。
6. アドバイザー
計測について特に専門的知識、経験あるいは技術を持った者で、ODC 計測委員長からの推薦者。
人数は若干名。
7. 事務局
ODC 計測委員長からの推薦者。但し ODC 計測委員の兼任もある。
人数は若干名。

上記の推薦者は原則として以下の要件を満たす者であること。

- ① 計測業務に精通し、指導力があること。
- ② 事務処理能力を有すること。
- ③ 人柄温厚で協調性があり、飲酒の品行に問題がないこと。
- ④ 年に1回ないし2回程度開催される定例会議に出席できること。

II. ODC 計測委員会の主な業務

1. 公式計測員の承認・認定及び登録名簿等の管理。
2. 公式計測員規程等計測関連規則等の管理。
3. ERS 改正等に伴う翻訳業務等日本語版 ERS の管理。
4. ERS 講習会の開催。

5. ODC 計測委員会公式ホームページの管理。
6. JSAF 登録スタンプ並びに JSAF セール計測スタンプのデザイン等の管理。
7. 各クラス協会等計測部門等との連絡・調整。
8. 各クラス計測講習会開催の支援。
9. 全日本選手権大会の大会計測実施の際の支援。
10. インターナショナル・メジャラー（IM）候補者推薦委員会の主管。
11. インハウス・メジャメント導入についての推進と管理。
12. 国体並びにリハーサル大会等への計測担当競技役員派遣者の推薦と支援。
13. ODC 計測委員長は毎年度 JSAF 専務理事宛、翌年度事業計画書・予算計画書及び前年度事業報告書・決算報告書等を提出しなければならない。
また、任期毎に計測委員名簿・アドバイザー名簿及び IM 推薦者委員会構成員名簿等を JSAF 理事会宛提出する。

Ⅲ. JSAF（主管 ODC 計測委員会）の業務について

1. クラス規則に基づく、MNA JSAF としての計測証明書及びセール番号の交付等の業務については、JSAF にそれらの業務体制が整えられるまでの期間、原則として当該クラス協会の計測担当部門に委託するものとする。
なお、クラス協会計測担当部門は、ODC 計測委員会に委員を推薦しているクラス協会の場合は、その委員をもって当該クラス協会の計測担当部門とする。
2. ウィンドサーフィンクラスについては更にクラス分けがなされているが、ウィンドサーフィンの最高運営団体である日本ウィンドサーフィン連盟に委託するものとする。
3. 業務を委託されたクラス協会は実施したその業務内容について、毎年度末までに JSAF に報告するものとする。
4. 当該クラス協会が発行する計測証明登録証等に使用する JSAF 登録スタンプは、原則として JSAF 所定のスタンプを使用するものとする。

Ⅳ. 公式計測員の認定証の交付・登録及び公示

1. クラス協会からの推薦
 - ①当該クラス協会は、「公式計測員規程」第 3 条に定める認定要件を満たす者を、クラス・メジャラーとして推薦する。
 - ②クラス・メジャラーには、メンテナンス・メジャラーとフル・メジャラーの 2 種類があり、受講した講習会のコース及び受講者の実績等により、分けられる。
 - ③ODC 計測委員会は、クラス協会から公式計測員として、承認申請があった場合は、特段の事情がないかぎり公式計測員として承認する。

④ODC 計測委員会事務局は、当該クラス協会もしくは公式計測員として認定された者に承認通知書（添付 5-1）並びにもしくは認定証を交付する。次いでメジャー登録名簿（添付 3）に登録し、JSAF 公式ホームページまたは J-Sailing に公示する。

⑤承認申請を行うクラス協会は、公式計測員推薦者名簿（添付 2-1）及び推薦書（添付 2-2）を ODC 計測委員会に提出する。

2. ERS を採用しているクラス協会等からのオフィシャル・メジャーの推薦

ERS を採用しているクラス協会等の公式計測員（推薦者）の中からオフィシャル・メジャーとして推薦された者は、ERS の「オフィシャル・メジャー」として承認し、承認通知（添付 5-2）を発行する。

但し、「オフィシャル・メジャー」として登録されるには、JSAF 等が開催する ERS 講習会を受講しなくてはならない。

3. チーフメジャー（計測委員長）の登録

クラス協会からチーフメジャーの届け出を受けた場合、ODC 計測委員会事務局はメジャー登録名簿に登録する。

4. 認定料

公式計測員としての認定料は 1, 0 0 0 円とする（但し、うち 5 0 0 円相当はは認定証作成及び発送費用等の経費とする）。

5. 登録番号等

所属クラス団体等 (3ケタ)	メジャーの種類 (F/M)	番号 (4ケタ)	ERS オフィシャル・メジャー (OM)
	-		

(1) 所属クラス団体等コード番号

日本ソリング協会	0 5 5
日本FD協会	0 5 6
日本470協会	0 5 7
日本フィン協会	0 5 8
日本スナイプ協会	0 5 9
日本シーホース協会	0 6 0
日本OP協会	0 6 1
日本FJ協会	0 6 2
日本モス協会	0 6 3
日本505協会	0 6 4
日本ファイアーボール協会	0 6 5

日本レーザー協会	066
日本インターナショナル14協会	067
日本トーナード協会	068
日本トッパー協会	069
日本K16協会	070
日本ミラークラス協会	071
日本ナクラ協会	072
日本シーホッパー協会	073
日本ドラゴン協会	074
日本420協会	075
日本J24協会	076
日本国際ヨーロッパ級協会	077
日本ウィンドサーフィン連盟	078
日本テーパー協会	079
日本エンタープライズ協会	080
日本ホビークラス協会	081
日本模型ヨット協会	082
日本49erクラス協会	084
日本シードスポーツ協会	087
日本B14クラス協会	088
日本29erクラス協会	092
日本メルゲス24クラス協会	093
セーリングスピリッツ協会	207
日本A級ディンギー協会	214
日本イングリッド協会	215
外洋統括IRC委員会	301
日本ORC協会	302

(2) メジャラーの種類 コード番号

フル・メジャラー	F
メンテナンス・メジャラー	M

(3) 番号

メジャラーの所属する各クラス毎に各々0001から始まる一連の番号。

(4) ERS

ERSを採用しているクラスのオフィシャル・メジャーラーについてはそのコード番号として OM を記す。

V. ERS 講習会の準備

1. 講習会の実施計画

- (1) 講習会の実施計画は、原則として ODC 計測委員会が講習会開催地県セーリング連盟等と協議し、ERS 改正年の 3 月末日までに立案することが望ましい。
- (2) 講習会開催地は、原則として北海道、東北、関東、中部、近北、関西、中国、四国、九州等各水域の中心地等とするも、受講希望者の多寡等を参考に開催地を選定する。
- (3) 講習会の日程は、1 日間実施とする。
- (4) 講習会の日程等について、JSAF ホームページまたは J-Sailing に公示する。
- (5) なお、ERS 採用クラスについては当該クラス協会等が実施する計測講習会の中に ERS 講習会を併催することで、ERS 講習会として認定することができる（講習会の開催については、ODC 計測委員長と協議すること）。

2. 担当者等の任命

ODC 計測委員長は、講習会のための実施担当者及び講師を任命する。

3. 計画書及び予算書の作成

ODC 計測委員長より任命された実施担当者は、担当する講習会についての計画書並びに予算書を作成し、ODC 計測委員長の承認を得て、次の事項を行なう。

- (1) 会場の予約、必要な場合は講習会補助員の依頼、宿泊の斡旋・予約等を行う。
- (2) 担当講師と事前の打ち合わせを行なう。
- (3) 下記事項を含む講習会開催要項を講習会開催日の原則的として 2 ヶ月前までに公示する。
 - ① 期日及び時間
 - ② 場所（セール、艇体等が準備可能なヨットハーバーが望ましい）
 - ③ 受講資格
連盟 JSAF 登録会員であること。
 - ④ 受講申込書は講習会開催日以前に実施担当者宛提出すること。また受講費用は講習会の当日に徴収する旨を記載しておくこと。

⑤ 費用

イ) 受講料 4,000円 (認定料1,000円含む)

ロ) クラスメジャー講習会と併催される場合には、当該クラス協会登録料等が必要である旨、記載する。

ハ) 宿泊が伴う場合、宿泊費等について明示はするが各自払いの旨を記載しておく。

⑥ 受講者が持参するもの

イ) 受講申込書 (事前に提出出来なかった場合)

ロ) JSAF 会員証の写し (事前に提出出来なかった場合)

ハ) ルールブック (RRS/ERS)

ニ) ISAFセール計測ガイド (ODC計測委員会ホームページより入手可能)

ホ) スチールメジャー

ヘ) 鉛筆

ト) 筆記用具

チ) 受講料

リ) クラスメジャー講習会が併催される場合は顔写真

(4) 上記受講申込書に基づき受講者一覧表を作成する。

(5) 講習会の関係資料、備品、器材等の用意

① 講習会資料 (補助教材等担当講師と打ち合わせて用意する)

② 計測器材、セール、艇体等、メジャー等等 (担当講師と打ち合わせて用意する)

③ 受講者一覧表

④ 受講申込書

⑤ 筆記用具、はさみ、ホッチキス、定規、ファイル、領収証、ゴム印、印鑑、朱肉、スタンプ台、金銭出納帳、釣り銭、名札、その他。

VI. ERS 講習会の実施

1. 受付にて出欠席の確認を行い、名札を発行する (各自に氏名及び所属団体名等を記入してもらう) と共に、資料等を配布する。
2. 実施担当者は、自己紹介および講師を紹介する。
3. 当日のスケジュール (添付1) 等を説明する。
4. 会場等により、必要な場合は昼食等の手配をする。

VII. ERS 講習会の報告と認定料の送金等

1. 実施担当者は、講習会実施報告書 (添付3-3) を作成し、受講申込書 (添付2-1)、受講者一覧表 (添付3-1) と共に、ODC計測委員会事務局へ提出する。

2. 実施担当者は、ERS 認定料（1,000円×人数分）を ODC 計測委員会事務局口座に送金する（なお、ODC 計測委員会事務局は認定料のうち認定証発行経費等を差し引いた概ね 500円相当×人数分を JSAF 本部会計口座へ送金すると共に、認定料等に関する会計報告書を提出する）。
 3. ODC 計測委員会事務局は実施報告書等及び入金確認後、受講者宛認定証を発行する。
- ※ 4. クラスメジャー認定についても上記同様とする。

VIII. 登録名簿などの整理・保管

1. ODC 計測委員会事務局は、受講申込書・公式計測員推薦者名簿、推薦書、登録名簿、受講者一覧表、講習会実施報告書等の管理を行なう。
2. ODC 計測委員会事務局は、クラス協会に委託した計測証明書及びセール番号の交付業務等について、当該クラス協会から報告を受けた場合は、その報告書等を管理する。
3. 資格を失った者、辞退した者、死亡した者等についての報告を受けた場合には、その者を登録名簿から削除する。
但し、資格を失った者については事情により一定の猶予期間を設けることができる。

IX. 認定証の再交付

1. 認定証を紛失又は破損した場合には、請求により再交付する。
2. 再交付を希望する者は、再交付願い書（任意）を作成し、顔写真1枚（ERSは不要）と交付手数料1,000円を添えて、ODC 計測委員会事務局へ提出する。

X. 更新

1. 更新のための認定手続き・認定手数料等は新規認定時に準じて行なう。
2. 更新する者に対しては、公式計測員規程の更新要件に基づき認定し、登録名簿に登録する。
3. 更新のための ERS 講習会
 - ① 日程は1日間実施
 - ② 受講料 3,000円（認定料1,000円含む）

XI. 会計

1. ODC 計測委員長は年間予算計画書を12月上旬までに作成する。
2. 同予算計画書を基に、ODC 計測委員長は JSAF 理事会に本部の予算計上を上申する。
3. ODC 計測委員会事務局は、毎年4月末日までに決算報告書を作成、ODC 計測委員長に提出する。

X II. 付則（クラス協会等が開催する ERS 講習会）

1. 上記V. VI. VIIは JSAF が開催する ERS 講習会について記載したものであるが、JSAF とクラス協会等の共同開催及び JSAF の認定を受けたクラス協会等単独開催の ERS 講習会がクラス協会等計測講習会と併催される場合は、これらV. VI. VIIを参考にして、JSAF に対して必要な講習会の開催・報告等の事務手続き等を行うものとする。

以 上

ERS 講習会（新規・更新）実施要項

セーリング競技規則(RRS)は、レースに参加するすべての艇が、クラス規則に従っていること及び有効な計測証明書あるいはレーティング証明書を保持することを求めている。そして、クラス規則あるいは大会においてセーリング装備規則(ERS)が適用される場合には、証明の管理は、各国協会(MNA)によって認定されたオフィシャル・メジャーが実施し、大会における装備の検査は、当該レース委員会によって任命されたイクイップメント・インスペクターが行うこととされている。

日本において、JSAF は「公式計測員規程」を定め、ODC 計測委員会が主管して、公式計測員として、クラス・メジャーを認定し、更にオフィシャル・メジャーを認定することとした。

本 ERS 講習会は、クラス・メジャーとして認定されるための要件であり、また、ERS が改定された場合には受講しなければならない。

土曜日あるいは日曜日（標準型）

09：00	集合・受付
09：20	挨拶と説明
9：30	講義
11：30	昼休み
12：30	セール計測実習
14：30	休憩
14：40	艇体等計測実習
16：40	実習終了
16：50	解散

以下は受講者へ配布する実施要項には記載しない。

- ※ 事務的なことは全て講義開始前もしくは昼休みに済ませること。
- ※ 計測実習に際しては原則的に F J を使用する。
- ※ 標準的な講習の内容
 - ①ERS とクラス規則について
 - ②用語及び定義の解説
 - ③計測証明の管理及び登録の方法
 - ④オフィシャル・メジャーとその権限
 - ⑤イクイップメント・インスペクターとその権限
 - ⑥計測実習
 - a)セール
 - b)艇体 リグ その他搭載備品等
- ※ クラス・メジャー講習会が併催される場合は、当該クラス規則に定められた規定について講義・実習する必要があるため、更に 3～4 時間が必要である。

No. _____										
ERS・メジャー講習会受講申込書 公式計測員推薦者名簿 (新規/更新)										
クラス名:		メンテナンス・メジャー	フル・メジャー	オフィシャル・メジャー	ERS	2009年	月	日		
フリガナ				生年月日	年		月	日		
氏名				性別	男女	年齢	才			
自宅	住所	〒								
	電話				FAX					
勤務先	社名				部署					
	住所	〒								
	電話				FAX					
E-Mail				携帯電話						
所属団体	団体名				役職等					
	団体名				役職等					
計測活動歴										
レース運営歴				セーリング歴						
メジャー資格登録番号					登録年月	年		月		
レースオフィサー資格登録番号					有効期限	年		月		
ジャッジ資格登録番号					有効期限	年		月		
JSAFメンバー登録番号					有効期限	年		月		
参考	その他セーリング等に関わる資格の有無(スポーツ指導者、小型船舶操縦士免許等)							顔写真		
								2.7cm×2.2cm		
メジャサイン	氏名									

* 顔写真は、講習会会場で撮影します。

* ERSの受講のみの方は、メジャーサインは不要です。

J S A F 記 載 欄	メジャー登録番号										

公式計測員推薦書

(新規者／更新者)

(財)日本セーリング連盟

会長 山崎 達光 殿

氏 名	推薦するメジャラーの種類	特 記 事 項

上記の者_____名、別紙推薦者名簿の記載事項(計測活動経歴等)に相違なく、
また知識、技術を有する等、メジャラーとして相応しい者であることを証します。

ここに_____ (推薦所属クラス団体名)として、上記の者を
JSAF公認の公式計測員として推薦いたしますので、ご承認をお願い致します。

年 月 日

推薦所属クラス団体名

代表者役職名

氏名

印

ERS等講習会実施報告書

(新規/更新)

期 日	年 月 日～ 日	実施担当者氏名	
開催地		住所	〒
受講者	名	連絡先電話	
		連絡先FAX	
		E - Mail	
備考		講師	
		補助者等	

収入の部		支出の部	
受講料	@¥ × 名 = 円	会場費	円
		講師及び事務方 交通費	円
		講師及び事務方 宿泊費	円
		講師講演料	円
収入合計	円	事務費	円
		事務方日当	@¥ × 名 = 円
送金額	円	その他	円
送金額は認定料1,000円×人数分		認定料	円
振込先 みずほ銀行 高田馬場支店		支出合計	円
普通預金 No. 2556843			
JSAF ODC計測委員会 渡辺 勝			

通信欄

平成 年 月 日

日本 クラス協会
会 長 殿

財団法人日本セーリング連盟

会 長 山崎 達光

公式計測員 承認通知

貴協会より、日本 クラス協会の公式計測員として申請がありました
下記メジャーにつきましては、ワンデザインクラス計測委員会の審査の結果、
公式計測員として適格であることが承認されましたので、JSAF公式計測員
規程に基づき、ご通知いたします。

記

氏 名	
-----	--

以 上

平成 年 月 日

日本 クラス協会
会 長 殿

財団法人日本セーリング連盟

会 長 山崎 達光

オフィシャル・メジャー（ERS）承認通知

貴協会より、日本 クラス協会のオフィシャル・メジャーとして申請がありました下記メジャーにつきましては、ワンデザインクラス計測委員会の審査の結果、オフィシャル・メジャーとして適格であることが承認されましたので、JSAF公式計測員規程に基づき、ご通知いたします。

記

氏 名	
-----	--

以 上

平成 年 月 日

E R S 講習会 単独開催・共同開催 願い

財団法人 日本セーリング連盟

会 長 山 崎 達 光 殿

申請団体住所〒
_____申請団体名

印

代表者名

印

担当者名
連絡先

申請項目	
その他申請項目	

この度下記の計測講習会を開催いたしますので、上記の項目について御承認いただきたく申請いたします。

記

講習会名称	
開催日時	年 月 日 () ~ 月 日 ()
場 所	
講習会内容 及び受講予定者数	

平成 年 月 日

日本 クラス協会
会 長 殿

財団法人日本セーリング連盟

会 長 山崎 達光

ERS講習会単独開催 承認通知

貴協会より、申請がありました貴クラス協会単独開催による ERS講習会の実施につきましては、ワンデザインクラス計測委員会の審査の結果、ERS講習会開催者として適格であることが承認されましたので、JSAF公式計測員規程に基づき、ご通知いたします。

以 上